

防災気象情報の伝え方の改善策と推進すべき取組（3）

大雨特別警報の改善

令和2年8月7日

説明の流れ

➤ 背景

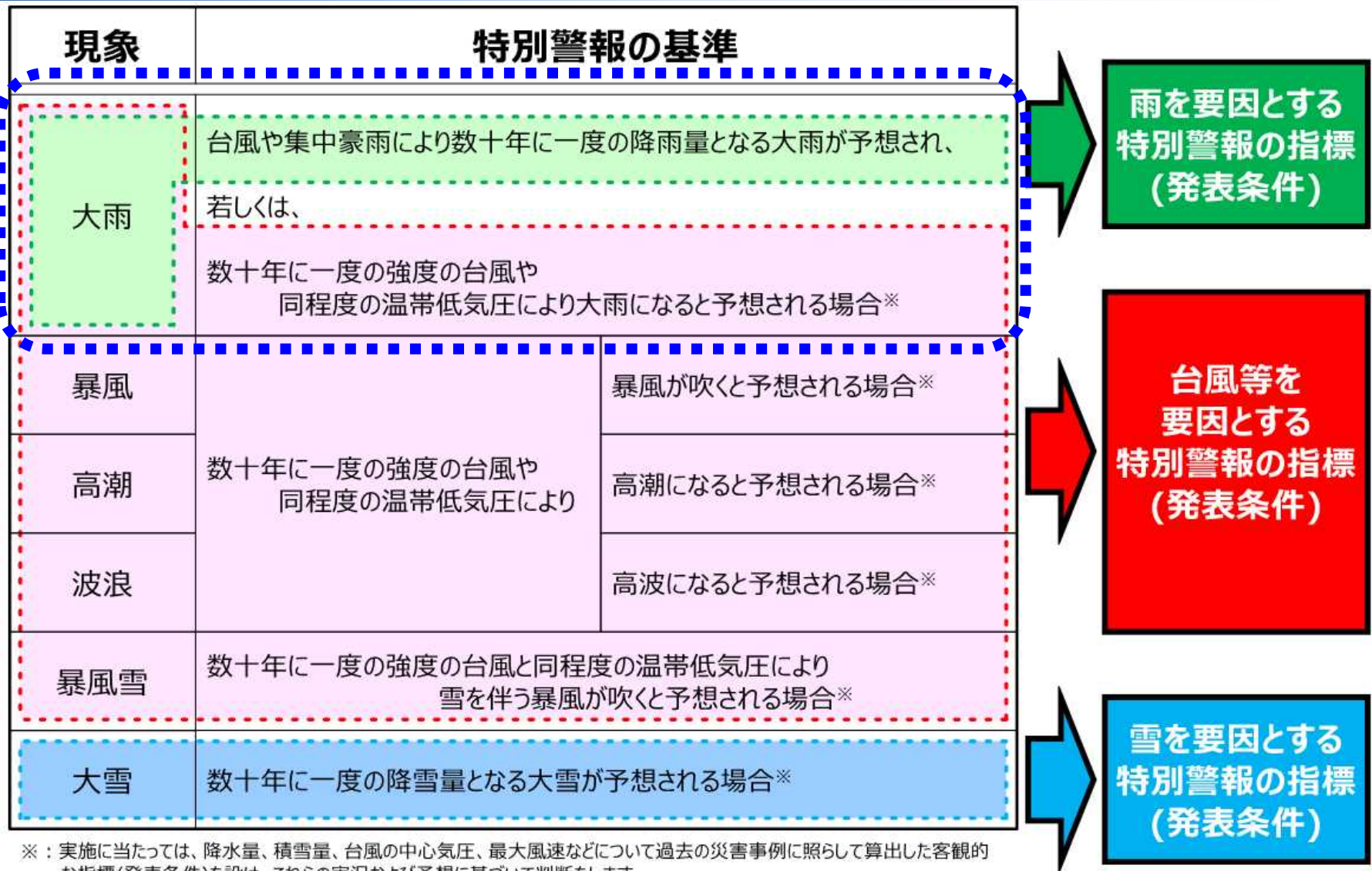
➤ 課題

➤ 改善策

- ① 発表基準の見直し
- ② 手遅れ感が伝わる呼びかけを実施
- ③ 特別警報の体系を整理

➤ まとめ

背景 – 特別警報の各基準と指標（発表条件）との関係 –



※：実施に当たっては、降水量、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などについて過去の災害事例に照らして算出した客観的な指標(発表条件)を設け、これらの実況および予想に基づいて判断をします。

課題

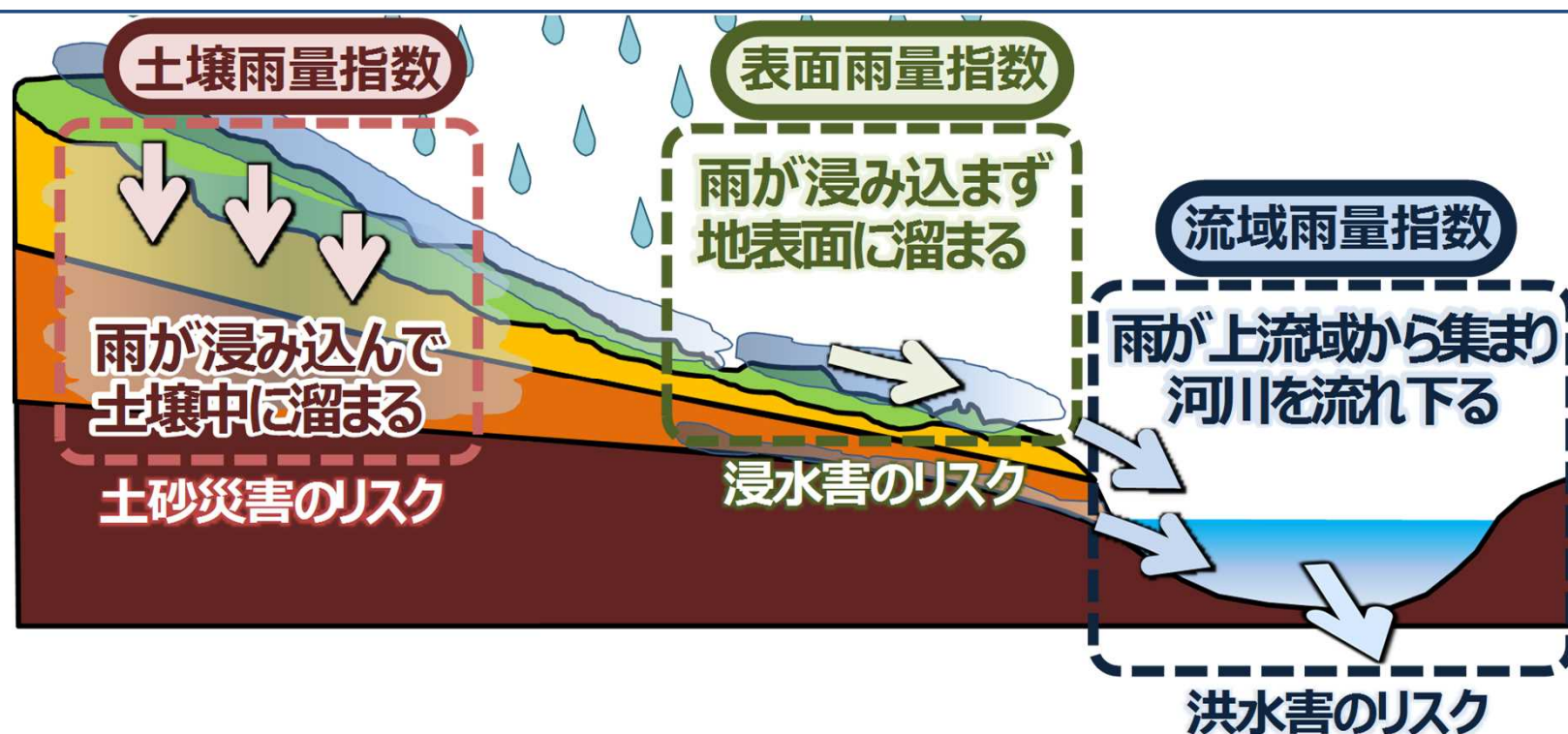
➤ 何らかの災害がすでに発生しているという、警戒レベル5相当の状況に一層適合させるよう、大雨特別警報の発表基準や表現の改善が必要。

警戒レベル		住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報 (警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報 (河川)	土砂災害の情報 (大雨)
5		命を守る最善の行動	災害発生情報	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
4		危険な場所から 全員避難	避難勧告 (避難指示 (緊急))	4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3		危険な場所から 高齢者などは避難	避難準備・ 高齢者等避難開始	3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2		ハザードマップ等で 避難方法を確認	大雨注意報 洪水注意報	2相当 氾濫注意情報	—
1		最新情報に注意	早期注意情報	1相当 —	—

※「避難行動判定フロー・避難情報のポイント」(内閣府) より

改善策① 発表基準の見直し

- ▶ 何らかの災害がすでに発生しているという警戒レベル5相当の状況に一層適合させるよう、災害発生との結びつきが強い「指数」を用いて大雨特別警報の新たな基準値を設定し、大雨特別警報の精度を改善する取組を推進。



改善策② – 手遅れ感が伝わる呼びかけ –

➤ 特別警報を待ってから最善を尽くせば助かるかのような印象を回避するために、特別警報を待ってから避難するのでは命に関わる事態になるという「手遅れ感」が確実に伝わる表現に改善。

改善後の呼びかけ

※赤字下線部分が改善された点

○特別警報発表済み市町村への呼びかけ

「災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当する状況です。
もはや命を守るために最善を尽くさなければならぬ状況です。」

○特別警報未発表市町村への呼びかけ

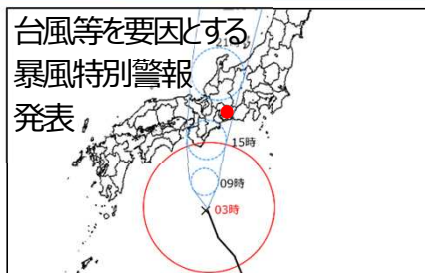
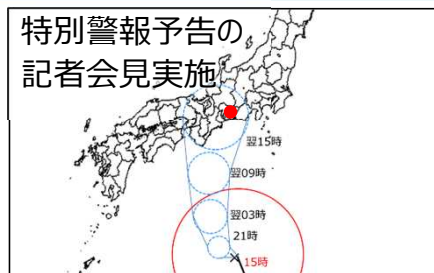
「特別警報の発表を待ってから避難するのは手遅れとなります。特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難勧告等（警戒レベル4）に直ちに従い緊急に身の安全を確保してください。」

改善策③ – 特別警報の体系を整理 –

- 大雨特別警報のうち、台風等を要因とするもの※を廃止し、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い(警戒レベル5相当の)雨を要因とするものに統一。
- 伊勢湾台風級の台風が上陸するおそれがある場合には、早い段階から記者会見等を実施。台風の接近時の暴風や大雨等による災害に対して極めて厳重な警戒が必要であることを呼びかける。

※台風等の中心気圧や最大風速の発表基準によるもの

改善策③ – 特別警報の体系を整理 –



時間の流れ

警戒レベル（●の地点）

【レベル1】

【レベル2】

【レベル3相当】

【レベル4相当】

現在

早期注意 情報	大雨・洪水注意報 危険度分布:黄	台風等を要因とする 大雨特別警報 赤	土砂災害警戒情報・氾濫危険情報 うす紫 濃い紫（土砂災害）	
------------	---------------------	---------------------------------	---------------------------------------	--

改善案

早期注意 情報	大雨・洪水注意報 危険度分布:黄	大雨・洪水警報 赤	土砂災害警戒情報・氾濫危険情報 うす紫 濃い紫（土砂災害）	
------------	---------------------	---------------------	---------------------------------------	--

台風要因の大雨特別警報の発表は行わず、通常の警報とする

大雨災害発生の危険度が高まることもしっかりと解説。

課題

- 警戒レベル5相当の状況に一層適合させるよう、大雨特別警報の発表基準や表現の改善が必要。

改善策

- 災害発生との結びつきが強い「指数」を用いた大雨特別警報の新たな基準値を設定。
- 大雨特別警報の予告や発表の際、特別警報を待ってから避難するのでは命に関わる事態になるという「手遅れ感」が確実に伝わる表現に改善。
- 大雨特別警報のうち、台風等を要因とするものを廃止。

➡ **警戒レベル5相当の状況に一層適合した大雨特別警報の運用を実現します。**